

「ものメッセKOCHI2022 第11回高知県ものづくり総合技術展」に王教授を中心とする産学連携の成果として①ニラ出荷支援ロボット ②花卉定植支援ロボットを出展

11月10日（木）～12日（土）に高知ちばさんセンターで開催される、「ものメッセKOCHI2022 第11回高知県ものづくり総合技術展」デモンストレーションゾーンに、システム工学群 王 碩玉教授が開発に取り組んでいるニラ出荷支援ロボット、花卉定植支援ロボットを出展します。

人手不足の解消と労働作業の省力化という、農作業の課題を解決するための農業用ロボットとして開発されている両ロボットを実際に体感することができます。

【ニラ出荷支援ロボットの注目ポイント】

従来のニラ出荷支援ロボットの課題：

- ①機械が大きく、運搬に苦勞する
- ②そぐり作業に水を使用するため、作業場が水浸しになり、衛生面でも課題がある

↓

今回展示されるニラ出荷支援ロボットの特徴：

- ①小型化に成功し、軽量で、値段も従来より安価
- ②風圧を利用した洗浄(そぐり)により、清潔な作業が可能
- ③特許出願中
- ④改良中にも関わらず、出荷作業者の要望が強く、既に複数台受注されている
- ⑤ニラ出荷量全国 1 位を占める高知県で特に必要とされるロボットである



ニラ出荷支援ロボット：
 収穫後のニラを①運搬②そぐり(不要な外葉等を取り除く作業)③画像認識④不良品選別するロボットのこと
 ※有限会社サット・システムズ、株式会社土佐ひかり CDMの3者連携により開発

【花卉定植支援ロボットの注目ポイント】

- ①可変式の植え付け機構により、様々な畝幅、畝高に適應可能。多種多様な地域の栽培形態に合わせた繊細な作業が可能に
- ②小型化により露地栽培や小型温室内栽培にも適應可能
- ③軽量化したことで搬送作業も比較的楽になり農家間での共同利用もしやすくなる
- ④特許出願予定



花卉定植支援ロボット

※有限会社サット・システムズとの連携により開発

ものメッセKOCHI2022 第11回高知県ものづくり総合技術展

日時：2022年11月10日(木)～12日(土) 10:00-16:00

場所：高知ちばさんセンター(高知県高知市布師田3992-2) デモンストレーションゾーン

本学の出展内容：ニラ出荷支援ロボット、花卉定植支援ロボット ※仕様は別紙参照

ホームページ：<https://kochi-monodukuri.online/exhibitor/demonstration/1662/>



【本リリースに関するお問い合わせ先】
 高知工科大学 入試・広報課 岡花・澤本
 TEL.0887-53-1080
 E-mail :kouhou@ml.kochi-tech.ac.jp